

令和6年度（2024年度）

朝霞市外部評価委員会の所見に関する検討結果

政策企画課

令和7年（2025年）2月

1 朝霞市外部評価委員会の所見に関する検討結果の見方について

- (1) 本資料は、令和6年度に作成した「朝霞市行政評価（外部評価）結果報告書」に基づき、各課において検討した結果について取りまとめたものです。
- (2) 「所見」は、外部評価委員会の意見を総括して記載したものです。

2 目次

◆ 将来像の基本概念（コンセプト）【安全・安心なまち】に係る所見に関する検討結果	 P. 2
◆ 将来像の基本概念（コンセプト）【子育てがしやすいまち】に係る所見に関する検討結果	 P. 4
◆ 将来像の基本概念（コンセプト）【つながりのある元気なまち】に係る所見に関する検討結果	 P. 6
◆ 将来像の基本概念（コンセプト）【自然・環境に恵まれたまち】に係る所見に関する検討結果	 P. 8
◆ コンセプト外（市民参画・協働、行財政）【基本構想を推進するために】に係る所見に関する検討結果	 P.10

【安全・安心なまち】に係る所見に関する検討結果

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
安全・安心なまち	◆人にやさしいまちへ	1	道路に係る取組の進捗について、行政と市民との認識にかい離があるが、市の取組が順調に進んでいるというところが見える工夫をすることで、その差が埋まっていくのではないかな。	道路整備課	市道の拡幅については、朝霞市道路整備基本計画に基づき、路線ごとの優先度や、沿道建築物の建替などの機会を捉え、土地所有者と交渉を行い、御協力を得られた箇所から順次整備を進めています。 これらの取組に関連して、道路整備基本計画や道路用地等の取得状況を市ホームページに掲載し、お知らせしているところです。 今後におきましても、取組状況を周知するとともに、引き続き市道整備を進めていきます。
		2	自転車道の整備は、歩行者側、自動車側に立っても通行しやすい道路になり、優しい道路につながると思うので、今後も推進してもらいたい。	まちづくり推進課	自転車道の整備に当たっては、道路整備基本計画に基づき幹線道路の整備の際に検討を行うほか、既に整備済みの区間であっても、道路空間の再配分等により歩行者や自転車にとってより良い空間の確保を目指すこととしています。 近年では、市道2号線において道路空間の再配分を行い、自転車通行領域として矢羽根型表示の整備を進めており、今後におきましても取組を推進していきます。
		3	歩道橋は、ベピーカーや自転車、高齢者など、利用がしやすい人も多く、作られた頃とは評価が変わってきていると思うので、更新するに当たっては、いろいろな人の声を聴いて対応してもらいたい。	まちづくり推進課	歩道橋につきましては、長寿化計画に基づき維持管理を行っています。架け替え等の更新が必要な場合には、いろいろな人の声を聴きながら、安全面とバリアフリーに配慮した代替機能の設置についても検討します。
		4	わくわくビーむや溝沼子どもプールなど、子供が集まるスポットに特化したバス案内の作成を検討してもよいのではないかな。	まちづくり推進課	現在、令和6年度からの2か年で第2次地域公共交通計画の策定に取り組んでいることから、その中で御提案いただいた子供が集まるスポットに特化したバスの案内作成についても検討し、バスの利用促進に向けた意識の醸成につなげていきたいと思います。
	◆支え合う心で安全・安心なまちへ	1	浸水の可能性がある地域に住んでいる人の中には、ハザードマップを見ていない向きもあると聞いているので、周知の仕方を工夫してもらいたい。	危機管理室	ハザードマップ等防災に係る啓発、周知につきましては、朝霞市ホームページにて掲載を行うほか、広報あさかにおいても、毎年、出水期前に特集を組んで取り組んでおり、引き続き継続していきます。 また、防災展や防災フェアといった各種事業においても紹介を行うとともに、認知度の更なる向上を図っていきます。
		2	防災対策については「自助」の部分も必要だが、市民が安心できるように、市としてできる限りの対応をとってもらいたい。	危機管理室	内閣府が推奨する自助・共助への推進について、理解を広く普及させられるよう周知、啓発に取り組んでいくほか、防災資機材の整備等、防災対策の推進についても取り組んでいきます。
		3	ペットが家族同様の家庭が多くなっていると感じるので、避難所運営に当たっては、限定的でよいので、一緒に避難できる状況だとよいのではないかな。	環境推進課 危機管理室	朝霞市では、災害時はペットと一緒に避難し、避難所では飼い主と別の場所ですぐ「同行避難」を推奨しています。 「同行避難」が可能なことや、避難時の諸注意、日頃の備え等を飼い主に周知啓発するため、広報・ホームページ・SNS等による情報発信の充実を図っていきます。
		4	メール配信サービスやSNSなどは、細かく情報発信がされていて便利なものだと思うので、もっと利用されるよう頑張してほしい。	シティ・プロモーション課	多くの方へ市政情報等が発信できるよう、メール配信サービスや市公式SNSアカウントの登録者数を増やすため、広報の裏表紙や「暮らしの便利帳あさか」に登録用の二次元コードを掲載するなど、周知に努めています。
		5	防災だけではなく、他のあらゆることに共通して、情報はちゃんと市民に届いて初めて役に立つものである。市民の側が関心を持てる内容、それに容易にアクセスできるようなものにすれば、より一層効果が上がるのではないかな。	シティ・プロモーション課	広報や市内掲示板、市ホームページに加え、メール配信サービスやSNSの運用により、市内のイベント情報や災害情報などを発信しています。 これらの媒体を活用し、市民の皆さんに関心を持っていただけるよう、表現などを工夫していきます。
		6	全国的にフィッシングによるものとみられる不正送金被害が急増しているため、警察等と連携して、事件を未然に防げるように努力してほしい。	危機管理室	フィッシング詐欺について、市のホームページで注意喚起を行っています。引き続き周知、啓発に努めていきます。
		7	ギフトカード詐欺について、店舗と協力して店頭で注意喚起のチラシを貼ったり、広報で事例を取り上げるなど、周知に努めてもらいたい。	危機管理室	ギフトカード詐欺を含めた特殊詐欺について、周知、啓発に努めていきます。
		8	地域包括支援センターの広報活動は、今は困りごとがない人にも自分事として捉えてもらえるよう、「今後に備えるため」等の言葉を用いるなど、問いかけ方の工夫をしてもらいたい。	長寿はつらつ課	今後、地域包括支援センターの広報活動をする際は、御指摘いただいた内容を踏まえ、他自治体の事例を参考にしながら周知していきます。
		9	市民企画講座、生涯学習体験教室、放課後子ども教室などの評判はよいようなので、今後とも継続し、生涯学習活動の推進を図ってもらいたい。	生涯学習・スポーツ課	引き続き、市民の多様な学習ニーズに対応した事業を実施し、生涯学習活動の推進を図ります。

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
(続) 安全・安心なまち	(続) ◆ 支え合う心で安全・安心なまちへ	10	LGBTQや外国にルーツがある方など、誰もが相談しやすい環境を作ることは大事だと思うので、態勢を整備してもらいたい。	人権庶務課 地域づくり支援課	LGBTQの方に対する相談窓口については、人権庶務課及び女性センターにレインボーフラッグ(LGBTQの尊厳と社会運動を象徴するもの)を掲げ、当事者の方からの相談に対応できる体制としています。 また、外国にルーツがある方に対しましては、各部署において、チャットの多言語化や音声自動翻訳機を使用した窓口対応をしています。 今後におきましても、多様な性の在り方や多文化共生について、理解を広めるための啓発を進めていくほか、当事者の生きやすい地域社会となるよう施策を推進していきます。
		11	男女平等の考え方は大切だが、女性ばかり守られているという印象を男性に与えてしまうことで、逆差別のようにならないよう、女性センターの名称等、表現方法などには配慮してもらいたい。	人権庶務課	女性センターの名称については、センターの業務内容や男女平等をとりまく社会情勢等を踏まえ、機会を捉えて皆様の御意見を聴いていきたいと考えています。

【子育てがしやすいまち】に係る所見に関する検討結果

基本概念	重視すべき事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
子育てがしやすいまち	◆子育てしやすいまちへ	1	過去に土日祝日に勤務があり、子供を預けるのに苦労した経験があるため、全てに対応することは難しくても、引き続き、日曜・祝日の保育が必要な人が預けられるようにしてもらいたい。	保育課	保護者の就労形態の多様化に対応するため、生後8か月以上で既に保育園等に在園している園児を対象として、仲町保育園において日曜日・祝日に保育を実施する「休日保育」や、相互援助活動として一時預かりを行う「ファミリーサポートセンター」の利用などについて、保育課の窓口や電話で相談を受けた際にニーズに合わせて御案内するとともに、引き続きホームページ等を活用し、広く周知に努めていきます。
		2	子供が生まれる前までにもう少しキャリアプランを考えておけばよかったと思った経験があるため、妊婦面談時のアンケートは、「仕事のこと」という大枠ではなく、もう少し具体的な、想像しやすい選択肢を設定してもらおうとよいのではないかな。	健康づくり課	妊娠面接時のアンケートですが、面接前に回答していただき、面接時の予備資料として利用させていただいているものです。 そのため、「仕事」のところに○が付いていた場合は、そこから話を広げ、御本人に必要な考えや行動等ができるように支援させていただいています。 また、「仕事」のところに○が付いていない場合でも、産休・育休のことあるため、面接時には就労に関することには触れさせていただいています。 書面の関係上、多くの選択肢を提示するのは難しい状況にありますので、御自身のキャリアプランについてもイメージできるよう、面接時に工夫していきたいと考えています。
	◆子どもたちがいきいきと育つまちへ	1	要保護児童対策地域協議会活動等、児童虐待防止に係る活動の情報をもう少し市民が知ることができる、市民も身近な問題として考えられるような機会となるのではないかな。	こども未来課	児童虐待防止に係る活動等は、広報・ホームページ・SNS等を通じ随時発信していますが、今後も広く市民の方々に周知できるよう努めていきます。 個別の世帯の対応等については、センシティブな情報を含むため、活動内容の公表等は難しいと考えます。
		2	朝霞台駅南口側に子育て支援センターが無いことは課題だと思うが、今ある施設を充実させ、多くの人に利用してもらえるようにしてほしい。	保育課	最寄り駅が朝霞台駅となる子育て支援センターとしましては、きたはら子育て支援センター、さくら子育て支援センターなどがあります。 子育て支援センターでは、来所や電話等による子育てに関する相談や、各種事業を行っており、今年度からの新事業として、きたはらでは、初めてのお子さんで2～5か月の児童を対象とした「ねんねの時間」、さくらでは、初めてのお子さんの妊婦さん同士の交流「プレパパ・プレママの会」などを予定するなど、事業の充実に取り組んでいます。 今後につきましても、引き続き、事業の充実を図るとともに、広報、ホームページ等により、子育て支援センターの周知に努めていきます。
		3	児童館や子育て支援センターが家から遠くても、青少年を守り育成する家という周りの大人の目があることを、子供や保護者に伝えていくことができるとよいのではないかな。	こども未来課	青少年を守り育成する家につきましては、毎年4月に市内小学校を通じて児童及び保護者へ、各校区の青少年を守り育成する家の位置図を配付しています。 また、市内公共施設や校内に位置図を設置・掲示するなど、周知に努めています。
		4	子供にとっては、学校が全てに感じてしまうことが多いと思うので、地域や児童館等、保護者や先生以外の大人と話せる場もあるということを伝えられるとよいのではないかな。	教育指導課	子供たちにとって、学校以外での居場所をつくることは大変重要だと捉えています。 地域の公民館や児童館等の公共施設との連携を図り、子供の居場所を増やすとともに、学校・家庭・地域の連携をより一層深めていきます。 また、市内の中学校区で毎年「ふれあい推進事業」を開催しており、子供たちと保護者、地域の大人と話す機会となっています。
		5	「朝霞の次代を担う人材の育成」という施策を推進していく上で、数値化してどう評価するかは非常に難しいと思うが、子供たちにこうなってもらいたいという目標や道筋ができるだけ明確になるようにしてほしい。	教育指導課	豊かな心と健やかな体を育むために、道徳教育や体験活動、読書活動や体力向上につながる取組等の充実を推進していきます。 また、様々な取組を通して知・徳・体のバランスの取れた子供の育成を目指した具体的な目標や方向性を、施策に示していきます。
		6	支援学級を担当する先生のスキルについては、通常学級以上に子供の成長に大きな影響を及ぼす印象があるため、できるだけ子供に寄り添うような形で、先生のスキルアップにも注力してもらいたい。	教育指導課	特別支援教育へのニーズは高まっており、特別支援学級担当者の専門性の向上は大変重要であると捉えています。 県では特別支援学級の新担当者を対象とした研修を実施しているほか、朝霞市教育委員会でも全教員を応募対象とした「特別支援教育コーディネーター研修」を実施しています。 各校の特別支援教育に関する校内研修の充実や、特別支援学級担当者の指導力向上を目指し、全教職員のスキルアップを推進していきます。
		7	市の小規模特認校制度は魅力的な制度だと思うが、最近の進路を決めるタイミングを考えると、小学6年生での情報提供では時期が遅いと思う。もう少し早い段階で、保護者が情報を得られる機会があるとよいのではないかな。	教育管理課	今後、保護者連絡ツールや学校だよりへの掲載等により、第5学年の児童及びその保護者が情報を得られる機会をつくれるよう検討していきます。

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
(統)子育てがしやすいまち	(統)◆子どもたちがいきいきと育つまちへ	8	教育のデジタル化は、機器の使い方の問題ではなく、それに伴って生じる発想と行動の変化が大切で、それをどのように受け止め、教育に落とし込んでいくかが課題なのではないか。	教育指導課	教育のデジタル化は、学校教育の在り方を大きく変える重要な契機です。 教育委員会としては、教員がデジタルツールを活用して、主体的・対話的で深い学びを追求した授業づくりができるよう、教職員研修を充実させていくほか、ICT支援員による学校のニーズに応じた支援も引き続き行っていきます。 また、地域をはじめ、他の教育機関等と連携し、オンラインによる講義や交流といった、デジタル化によるメリットを生かした多様な学びを支える環境づくりを進めます。 デジタル化を通じて教育の質を高め、予測困難な社会を生きる子供たち一人一人が、社会で活躍できる力を育てていきます。
		9	教材費について、中学校では教材費が預金口座から引き落としされるが、小学校では現金で集金されている。保護者のみならず、教職員の事務負担軽減の観点からも、引き落としの導入を検討してほしい。	教育管理課	市では、会計補助事務を担える学校業務アシスタントを各校1名配置することで教職員の負担軽減を図っていますが、小学校の教材費についても中学校同様、保護者及び教職員の負担軽減のための方策を引き続き検討していきます。
		10	大学教育では、協働での学習が非常に重要だと考えるため、学生になったときに自主的な交流ができるよう、子供の頃からコミュニケーションを取る機会を多く作ってほしい。	教育指導課	令和の日本型学校教育において、「協働的な学びの推進」は大きなテーマの一つであり、教育委員会としても学校訪問等の場面において指導を実施しています。 実際に各学校においても、各教科・領域において、グループで課題や題材に取り組む姿が多く見られています。 今後も、より大学教育につながる「探究的な学びのプロセス」を意識した授業を行えるよう、指導を継続していきます。
		11	人権教育については、近年で新しいテーマが次々に出てきているので、その大きな変化について、学校教育の中だけでなく、現状の把握とこれからの展開について、研究を深めてほしい。	人権庶務課 教育指導課	近年の様々な人権課題の変化に対応すべく、教育委員会では、年2回ほど人権教育主任を集め研修を行うとともに、各学校においても人権教育の研修会を行っています。 また、人権庶務課において、国、県の会議に出席し、様々な人権課題について情報収集を行い、庁内各課で構成する「人権施策庁内連絡会」で情報共有をしています。 今後におきましても、様々な人権課題について、現状を把握するとともに、調査、研究に努めていきたいと考えています。

【つながりのある元気なまち】に係る所見に関する検討結果

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
つながりのある 元気なまち	◆ つながりのあるまちへ	1	市民総合スポーツ大会について、加入率が低下している自治会・町内会の参加も少なくなっており、市民全体の参加というところとかい離していると思うので、他の自治体が運動会などをどのように開催しているか調査・研究し、広く市民が参加できるような方向性を出してもらいたい。	生涯学習・スポーツ課	市民スポーツ大会の今後につきましては、スポーツに参加できるイベントとして、参加型のプログラムを継続しながら、自治会・町内会のほか、多くの一般参加者を迎えられるよう、他の自治体の事例も参考にしながら、プログラムの改善を検討します。
		2	自治会加入率の低下について、新規加入者を増やすだけでなく、退会者を減らすことも重要ではないか。	地域づくり支援課	御指摘のとおり、新規加入者だけでなく、退会者を減らすことも課題と捉えています。 退会者を減らすためには、役員の負担軽減や加入のメリットを増やす、加入の有無の不公平感をなくす必要があると考えているため、自治会連合会とも話し合っています。
		3	会計管理アプリなど、デジタル技術を用いて自治会の負担軽減を図るのはよい取組だと思うが、自治会の会員によってはアプリ等を使うのが難しい場合もあるので、その点も考慮してもらいたい。	地域づくり支援課	自治会連合会において、令和4年度にICT(情報通信技術)の活用について導入事例の視察研修を行っており、総務委員会においても話し合いがされてきています。 アプリの導入については、各自治会・町内会で検討いただくこととなりますが、まずはデジタル技術(ICT)に関する基本的な知識や機器の操作方法などの習得や理解が図れるように支援していきます。
		4	自治会やPTA活動は、時代に合った方法にしていけないと加入率が増えないと思うので、課題やどこが実態と合っていないのかを把握して、方法を変えるのがよいと思う。	地域づくり支援課 教育指導課	メールやアプリなどを活用することで、会議や行事の開催通知、出欠確認などの情報伝達の簡略化を図るほか、リモート会議を実施するなど、活動の負担軽減につながるようなICTの活用を検討していきます。
		5	自治会の状況把握や連携を深めるため、例えば、自治会の総会などに市職員が参加したり、各自治会に担当職員を数名割り当てるなど、周辺自治体の先行事例等を研究し、行政と自治会のよりよい協働の方法を模索してほしい。	地域づくり支援課	各自治会に担当職員を割り当てる方法については、周辺自治体の先行事例等を研究していきます。
		6	市民活動ガイドブックは、たくさんの団体が載っていてとても見やすいと思うが、性別や年代等、NPO団体の会員構成も載っていた方が、新規の人が加入を検討しやすいのではないかな。	地域づくり支援課	御指摘いただいた御意見については、今後、団体の皆様と話し合いながら、あさか市民活動ガイドブックを作成していきます。
		7	他の自治体で、女性の社会進出を応援するポスターに掲載した社長の写真が全て男性だったという事例を聞いたことがあるので、啓発等を行う際には、そのように趣旨に反して差を意識させてしまうことがないよう、配慮をしてもらいたい。	人権庶務課	本市でも様々な啓発等の取組を行っていますので、引き続き、施策の趣旨に沿うよう、十分な検討を踏まえて実施していきます。
		8	窓口を訪れる外国人への対応として、氏名章プラスワンや翻訳機の使用等、従前の取組や配慮が必要だと思うので、引き続き取り組んでほしい。	地域づくり支援課	音声自動翻訳機を令和2年3月から使用し対応しています。 他部署でも保有している機器もありますので、外国人の方々にスムーズな対応ができるよう取り組んでいきます。
		9	礼拝、食事など、宗教面の制限がある市民が増えてくる時期が来ると思うので、それを念頭に入れた対応の在り方を検討してもらいたい。	地域づくり支援課	本市では多文化共生の施策として、①外国人市民が暮らしやすいまちづくり、②多文化共生への理解の促進、の2本立てで取り組んでいるところです。 御指摘の宗教面についても、②の理解の促進の取組の中で検討していきます。
		10	朝霞市でも、中国、ベトナム、フィリピン等、外国人住民が増えているようなので、自治会の加入促進パンフレットの多言語化等を期待している。	地域づくり支援課	現在配布している加入促進パンフレットにつきましては、日本語のみ対応している状況ですが、市内在住の外国人住民が増加していることから、今後パンフレットの多言語対応について検討していきます。

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
(続)つながりのある元気なまち	◆元気なまちへ	1	民生委員・児童委員の活動を評価する際は、相談件数だけでなく内容も重要だと思うので、数だけに捉われず、内容も評価してもらいたい。	福祉相談課	民生委員・児童委員の相談・支援件数につきましては、事業評価の指標としていますが、評価に当たっては、件数だけでなく、活動内容など数値に現れない部分も含めて行っていきます。
		2	ひきこもりは、孤立・孤独問題にもリンクするものだと思うので、引き続きの実態把握と、適切な支援の方策を検討してもらいたい。	福祉相談課	ひきこもりの方への支援につきましては、第5期地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査や、関係部局で構成する「朝霞市ひきこもり支援庁内連絡会」等での意見等を踏まえながら、引き続き、実態把握と適切な支援の方策を検討していきます。
		3	真偽は分からないが、生活保護を受給するために、難民認定を受けようとする外国籍の人がいるという話を聞いたことがある。朝霞市にも外国籍の人が増えてきているので、今後、この問題に注目していく必要があるのではないか。	生活援護課	生活保護の制度は原則日本国民を対象としています。法に則して日本に滞在し、一定の資格要件を有している外国人については、国の通知等に基づき生活保護法を準用しています。 今後につきましても、生活保護受給要件があるか確認の上、制度に準じた対応をしていきます。
		4	生活に苦労している人が生活保護から自立するためには、就労の場が必要となることから、産業振興が大きな力になると思うので、それに対する手立てを講じてほしい。	産業振興課	就労に関する取組としては、キャリアコンサルタントによる就労支援相談を実施しています。 また、ハローワーク朝霞や埼玉県などと共催で就職支援セミナーや合同面接会・相談会を開催しています。 引き続き、関係機関との連携を深め、就労支援事業の充実を図るとともに、本人の同意の上、生活保護担当課との情報共有に努めます。
		5	第1層協議体では、今後の事業等をどういった形にしていきたいのかをまとめ、その報告を市民に向けて発信することが必要ではないか。	長寿はつらつ課	第1層協議体の活動内容につきましては、可能な範囲で市ホームページに掲載し、市民向けに情報発信していきます。
		6	地域包括支援センターの区域を見直し、区域が5つから6つに増えたことは、職員の業務の軽減という意味でよいことだとは思いますが、区域が変わったため、相談がしづらくなった利用者もいるのではないかとと思うので、サービスが行き届くような配慮をお願いしたい。	長寿はつらつ課	圏域が増えたことで、一部の利用者の圏域を変更させていただきましたが、対象圏域となる地域包括支援センター間の丁寧な対応により、大きな混乱はありませんでした。 今後も地域包括支援センターと連携し、利用者や家族のニーズを把握しながら、必要な支援やサービスにつなげていきます。
		7	市内で開業する人への融資や補助金は、当事者が利用しやすい制度にして、多く利用してもらえよう、実態の把握に努めてもらいたい。	産業振興課	起業・創業の支援としては、起業家育成資金融資制度や同融資制度に係る利子補給補助金などがあります。 また、中小企業診断士による起業相談や、商工会や金融機関などと共催で起業セミナーを開催しています。 引き続き、関係機関と連携し、事業者の実態や要望の把握に努めます。
		8	商店街の活性化のためには、建物等の所有者の理解や協力を得ながら、地域の人へのサービスに関わる施設ができると効果的だと思う。そのような成果を上げている自治体は、どこも行政がかなり立ち入って進めているので、朝霞市にもそのように努めてもらいたい。	産業振興課	商店街における空き家対策としては、店舗等リフォーム資金補助金を交付しています。 令和6年度には、埼玉県が新たに同様の補助制度を創設したため、市の要綱を改正し、活用できるよう整えたところです。 今後は、補助制度の周知を図るとともに、商工会や金融機関、不動産事業者との協力体制の構築について検討が必要と考えています。
		9	目標に市の融資件数を設定しているが、金融機関の融資に使い勝手のよいものが増えていくことから、行政の融資制度の役割は終わっていると思うので、実態に合った目標設定を考えてもらいたい。	産業振興課	中小企業融資実行件数を産業活性化(中小企業の経営基盤の強化)に係る指標としていますが、市の融資制度のみで評価することは難しいと考えていますので、次期計画においては、指標の見直しを検討します。 また、融資制度につきましては、事業者が融資を選ぶ際の選択肢の一つとして有用であると考えていますが、今後、商工会や信用保証協会などの意見を伺う機会を設け、融資制度の在り方について検討します。
		10	住宅のリフォームに関する助成金など、一般の家庭を対象とする補助金については、事業者側も情報を把握して営業に活用するなど、非常によい効果があると思う。制度を知っている人が得をするではなく、極力、まんべんなく周知されるような取組ができるとよいのではないかと。	産業振興課	個人住宅リフォーム資金補助金につきましては、利用者と事業者の双方から好評をいただいております。今後も継続して実施していきます。 また、商工会やSNSなどを通じて、同補助金を事業者や市民により広く周知できるよう努めます。

【自然・環境に恵まれたまち】に係る所見に関する検討結果

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
自然・環境に恵まれたまち	◆自然・環境がいきるまちへ	1	低炭素・循環型社会を推進する上では、施策と地球温暖化等との因果関係を市民に理解してもらうことが必要だと思うので、引き続き啓発に努めてもらいたい。	環境推進課	温室効果ガス削減には、市民、事業者全ての方の御理解や行動が不可欠となるため、毎年発行している年次報告書をはじめ、広報・ホームページ・SNS等による情報発信の充実を図っていきます。
		2	省エネエアコン買換え補助金は、補助金の開始が暑い時期になっており、既にエアコンを買換え済みの人も多かったようなので、もう少し早めに実施できれば、もっと促進を図れたのではないかな。	環境推進課	この補助事業につきましては、令和5年度の単年度事業であるため、次年度以降に反映できるものではありませんが、御意見等も踏まえ、補助事業に際しましては、予算成立後速やかに周知を含め、事業を開始できるよう努めていきます。
		3	3R推進月間や分別キャンペーンの時期に市が行っている取組は、市民には見えてこないもので、例えば、金銭的にいくら分のリサイクルができたなど、具体的なことが分かるようにするとのではないかな。	資源リサイクル課	令和6年11月のごみ分別キャンペーンにおいて、令和5年度のごみ処理に係る収支等について啓発を行いました。 今後も、より市民に伝わるような情報発信に努めていきます。
		4	リサイクルの取組は、新しいエネルギーや、新しい環境物質を作るといったようなことを通じて、市民の問題意識も変わってくるのではないかなと思うので、和光市との新たなごみ焼却場を作る計画については、リサイクルの問題をもう少し積極的に取り組んではどうか。	資源リサイクル課	新たに建設されるごみ広域処理施設では、焼却により発生する熱エネルギーを発電に有効活用することで、環境負荷の低減を図ることとしています。 今後は、資源物処理の広域化についても、和光市及び朝霞と光資源循環組合とともに検討を進めていきます。
		5	今、朝霞駅前が変わってきており、北朝霞・朝霞台エリアについても未来ビジョンにとっても期待しているもので、官民一体となって引き続き頑張ってもらいたい。	まちづくり推進課	次年度以降も引き続き、地元の方々をはじめ、意見交換やワークショップなども開催し、未来ビジョンの実現に向けて、取組を進めていきます。
		6	地域経済を考える上では、道路は非常に大きな要素となっており、国道254号バイパスについても、市の将来に大きな影響を与えるものだと思うので、その扱いを戦略的に考えていくべきではないかな。	まちづくり推進課	国道254号バイパス整備により、開発需要が見込まれることから、土地利用を考えている方に向けて土地利用の課題や留意点をまとめた「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」の冊子を令和5年度に作成しました。 今後につきましては、令和7年度中における冊子の確定版の完成を目指していきたいと考えています。
		7	朝霞のような大都市近郊の農業は、技術革新、産業革新が必要な状況になっていると思うので、行政としてどう支援していくかという観点で取り組む必要があるのではないかな。	産業振興課	社会環境の変化や技術革新への対応につきましては、県や農協と連携し、情報提供や技術支援などを行い、農業者が時代のニーズに応じた経営を実現できるよう支援します。
		8	市役所周辺の公園でも、多くの子供たちが水辺で遊んでいるような光景を目にするので、そのような場所づくりをこれからも推進してもらいたい。	みどり公園課	水施設のある公園につきましては、今後拡張整備を予定している内間木公園の検討の際に考慮していきます。
		9	寄付型自販機は、売上金の一部がみどりのまちづくり基金に寄付されることや、これまで基金を用いてどのような事業が実施されたかをステッカーなどにより直接的に発信することで、周知が進むのではないかな。	みどり公園課	みどりのまちづくり基金については、事業の活用実績等を市ホームページに掲載しているほか、売り上げの一部が基金に寄付される旨を寄付型自販機に掲示し、周知しています。 今後も、基金を使用した事業について周知を図っていきます。
		10	税制面や農協の支援の面での問題もあるが、市内の農家にはインセンティブがなく、やる気があっても続けられないような非常に厳しい状況があるので、現状をどう打破していくか、地元の関係団体と引き続き検討してもらいたい。	産業振興課	農業関係団体や農業者と連携し、課題や解決策の検討を進め、農業者が意欲を持って継続できる環境づくりを進めるとともに、支援策について検討します。

基本概念	重視すべき事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
(統) 自然・環境に恵まれたまち	◆ 歴史や伝統がいきるまち、魅力ある文化を創造するまちへ	1	博物館は、展示物を見て学ぶ場であり、関心がないテーマでも視覚的な要素から興味を持ちやすいと思うので、ビジュアル面を強調した情報発信方法を探ってはどうか。	文化財課	博物館の情報発信手段は、広報あさかや市ホームページへの掲載のほか、メール配信サービスやSNSなど様々な媒体を通じて行っており、各種展示や博学連携事業等の実施の際には、前述の手段と並行してチラシ・ポスターを市内公共施設への配架や市内掲示板への掲出、学校を通じて児童生徒にチラシ配布をしています。 さらには、他館と連携し相互間の情報等を館内に掲示するなどし、相乗効果を図る取組も行っています。 今後も引き続き、来館者の需要や関心に寄り添い、博物館にしかない、できないような展示内容等について考え、先進事例なども参考にし、博物館の存在意義を高めていけるよう努めていきます。
		2	芸術の振興に関して、小中学生の美術作品が一般の目に触れるような場には、先生が選んだ作品しか出せないため、自分の何かを表現したいという子供が、それを発表できるような場があるとよいと思う。民間を巻き込んで、何か計画してもらいたい。	教育指導課	例年2月に開催している「なかよし作品展」では、市内の特別支援学級の子供たちが作成した平面・立体・書きぞめ等の作品を展示しており、一般の方にも公開しています。 また、近隣の商業施設と連携し、5年生全児童の書きぞめ作品展を開催した小学校もあります。
		3	彩夏祭を通じた文化の定着については、親も一緒に参加することが多い保育園や幼稚園にフォーカスして、参加数を増やす取組をすることが、若い世帯を地域に根付かせるきっかけになるのではないかな。	地域づくり支援課	朝霞市民まつり「彩夏祭」では、保育園・幼稚園で出場されることもチームのよさこい鳴子踊りの参加費を無料としているほか、園の行事などで依頼があればマスコットキャラクター「彩夏ちゃん」の着ぐるみを貸出しています。 彩夏祭の啓発につながり、こどもたちの楽しみや思い出の一助になるように、今後におきましても引き続き、保育園・幼稚園が参加しやすい環境について検討していきます。
		4	彩夏祭だけでなく、自治会・町内会のお祭りについても担い手不足が顕著になっている。お祭りなどの地域の活動を支える人をどう確保していくのかが、一つの課題ではないかな。	地域づくり支援課	御指摘いただいた御意見については、市としても認識しており、引き続き、自治会連合会と話し合いながら検討していきます。
		5	朝霞市のイベントは、朝霞駅や市役所側に偏っていて、朝霞台、北朝霞側ではあまりないという点が残念だと思っている。	地域づくり支援課 産業振興課	朝霞台駅、北朝霞駅方面でのイベントにつきましては、朝霞市民まつり「彩夏祭」では北朝霞会場において催物を実施しているほか、黒目川花まつりや産業フェア、どんぶり王選手権、おやちい村～収穫祭～などを商工会や商店会が開催し、市内産業の活性化を図っています。 引き続き、商店街活性化補助金の交付などを通じ、イベントの充実を支援します。
		6	朝霞市では、ある程度子供が大きくなると世帯ごと市外に転出してしまいう傾向が見られる。子供たちが朝霞で育った体験を後日懐かし思い出せるようにできれば、大きな前進があるのではないかな。	地域づくり支援課	多くの人につながる意識が醸成されるよう、継続して朝霞市民まつり「彩夏祭」を実施することが必要であると考えています。
		7	市のシティ・プロモーションは、民間事業者との連携や、シンボルロードの活用、市民を活動に参加させるような発信など、かなり頑張っているという印象を受けているので、引き続き、いろいろなことに挑戦してもらいたい。	シティ・プロモーション課	民間事業者や市民との連携は、新たな発見やアイデアを共有できる良い機会であり、今後も積極的な連携に努めていきます。 また、市民が参加の機会を逃すことのないよう、引き続き適切なタイミングでの周知を行っていきます。
		8	シティ・プロモーションに深く関わっていない一般の市民が、SNSの活用などを通じて、少しでも活動に参加できるようなやり方も、今後、長い目で見ると大切なことだと思うので、検討してもらいたい。	シティ・プロモーション課	SNSによる情報発信は、拡散性や即時性により多くの方に情報を届けることができるという利点があるため、興味や関心を持っていただけるよう表現を工夫し活用していきます。 また、Instagramの特性である画像や動画を活用した情報の発信を市民の有志とともに取組を進めています。
		9	シティ・プロモーションに当たって、既存のものだけではなく、産業振興等、これからの朝霞がどういう方向に向かっていくのかという要素も盛り込んでもらえると、他地域の方々が関心を持つようになるのではないかな。	シティ・プロモーション課	“朝霞ならではの”地域資源7点を「シティ・セールス朝霞ブランド」として認定しており、朝霞市に興味・関心を持っていただく入り口になるものと考えています。 また、産業振興等の方向性も含め、PRに活用できるものについて担当部署と相談していきたいと考えています。

【基本構想を推進するために】に係る所見に関する検討結果

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
基本 構想 を 推 進 す る た め に	◆ 市民参画・協働	1	デジタル化など、技術の進歩が非常に速いスピードで進んでおり、その技術を学習しなければ時代についていけない環境になっている。その中で、生涯学習は極めて重要な課題になっていると思うので、生涯学習の間口を広げ、時代に即したシステムを考えていくべきではないか。	生涯学習・スポーツ課	デジタル化が進展する社会において、デジタル技術の活用とリアル活動を組み合わせた効果的な生涯学習を展開し、多様な学び・学び合いの機会の充実を図ります。
		2	若い人たちは、政治や選挙等について、何か考えるきっかけがあれば興味を持つと思うので、高校生や大学生が興味を引かれやすいアプローチ方法を検討し、取り組んでもらいたい。	政策企画課 選挙管理委員会事務局	市民参画や市民協働を考える上では、一部の市民に偏らず、若い世代も含め、幅広い属性にまたがった取組を進めていくことが重要だと考えており、現在、策定を進めている第6次朝霞市総合計画の検討過程においては、小中学生や高校生など、若い世代を対象としたアンケート調査や意見交換会を実施してきました。 また、若い世代に選挙に関心を持っていただくための取組としては、成人の日記念式典で投票を呼びかけるパンフレットの配布、学校での出前講座を実施しています。 今後につきましても、これまでの取組を継続していくとともに、若い世代にとって身近な情報媒体であるSNSを活用するなど、より効果的なアプローチ方法を検討していきたいと思います。
		3	子ども議会のテーマ選定について、その決定の経過や理由を明確にし、それを伝えることで、子供たちもより自分事として参加することができるのではないかな。	市政情報課	子ども議会は、参加できる人数が限られるなどの課題もあったことから、20回目となる令和6年度の開催を区切りとし、今後は、今年度から開始した「こどもモニター」事業にて、より多くのこどもたちから意見や要望を聴取していきます。
		4	加入率が低下している自治会・町内会ベースでの情報提供には限界があり、PTA活動との共同や各種Web等、他の媒体も活用していかないと、新しい住民などには情報が届かないのではないかなと思う。様々な情報提供の在り方について、関係課とも連携して取り組んでもらいたい。	シティ・プロモーション課	市では、広報や市内掲示板、市ホームページに加え、メール配信サービスやSNSの運用により、市政やイベント等に関する情報を発信しています。 各情報の対象者に応じたツールを活用して、情報発信を行う必要がありますので、より効果的に情報を発信できるよう、周知方法を工夫していきます。
		5	市民の意向をきちんと把握するためには、市で行うアンケート等に回答しなかった人の意見をどう取り込むかも考えてもらいたい。	市政情報課	市政モニターアンケートの結果については、各部署で実施しているその他の意識調査やアンケート、また、窓口に寄せられる意見や所管する審議会等での意見などにより補完されていると考えますので、引き続き、各部署で機会を捉え、意見聴取に取り組んでいきます。
		6	広報あさかは、アンケートの意見を参考に、色やフォントなど、変更できる面も多々あると思うので、見やすい紙面を目指してもらいたい。	シティ・プロモーション課	過去にも市政モニターアンケートで収集した意見を基に、広報の紙面デザインの変更や特集記事を取り入れるなどの編集を行っています。 引き続き、アンケート等により情報を収集し、より見やすい紙面となるよう努めていきます。
		7	広報あさかに小中学生ぐらいが担当するコーナー等を設けることで、小中学生、更にはその親も興味を持って広報を見てくれるようになるのではないかな。	シティ・プロモーション課	広報あさかに掲載の情報をより多くの方へ届けることは、課題の一つであり、若い世代に読んでいただける工夫は必要であると考えています。 頂いた意見や市政モニターアンケートで収集した意見を基に、検討していきたいと考えています。
		8	スマホ版の市ホームページは、文字サイズが小さく、幅広い世代の人が読むことを考えると、読みづらいと思う。	シティ・プロモーション課	ホームページの作成上、一部画像として掲載している文字については、スマートフォンの設定により文字サイズを変更することができないため、画面サイズによっては見づらい場合があります。 次回契約変更時など、サイトデザインを変更する際は、より多くの方が見やすいデザインとなるよう考えていきます。
		9	災害等の緊急時には、市ホームページのトップページに「緊急情報」のバナー表示を行うとのことだが、緊急時以外にも、常時表示することを検討してほしい。	シティ・プロモーション課	「重要なお知らせ」の表示については、直近では7月31日の豪雨災害の関連情報を掲載しており、以前にはコロナウイルスの感染者情報やコロナウイルスワクチンに関する情報を掲載していました。 常時表示することは現在考えていませんが、必要に応じて皆さんに優先してお知らせしたい情報を掲載していきます。
		10	パンフレットや広報などの情報提供媒体は、情報の受け手である市民に、それがちゃんと伝わるか、市民目線に立って企画する必要があるのではないかな。	シティ・プロモーション課	パンフレットや広報などの作成に当たり、情報の受け手を意識して企画・編集を行うことは重要であると捉えています。 発信側の伝えたい情報が市民の皆さんに届くよう、分かりやすく、見やすい情報を発信していきたいと考えています。 また、今後作成する冊子類は、皆さんにストレスなく楽しんで見ていただけるよう、文字のサイズに気をつけていきます。

基本 概念	重視 すべき 事項	No.	外部評価委員会からの所見	所管課	次年度以降施策に反映させる内容又は今後の方向性等
(続)基本構想を推進するために	◆行財政	1	市で行うアンケート等の意見聴取については、それがどのように政策や実施計画に生かされたのか、そのフィードバックが課題ではないか。	政策企画課	市では計画や施策に市民の声を生かしていくため、様々な機会において、各所管課により、アンケート調査や関連団体へのヒアリング等の意見聴取を行い、実施後には、協力いただいた方々への情報提供も兼ねて、頂いた意見を報告書等に取りまとめるなど、フィードバックに努めているところです。 御指摘のとおり、頂いた意見等がどのように生かされたかが明確になることで、意見聴取へ協力する意欲向上にもつながると考えられますので、フィードバックの方法を検討していきたいと思います。
		2	公共施設について、持続可能な在り方を考えると、新しくするばかりではなく、既存の建物をどう利用し続けられるものにするか、という感覚で考える機会を作ることも必要ではないか。	財産管理課	本市では、朝霞市公共施設等マネジメント実施計画を策定しており、既存の公共施設を計画的に改修することで、構造別に設定している長寿命化目標年数まで使用し続けることを目指しています。 現在、令和8年度から10年間を計画期間とする、朝霞市公共施設等マネジメント実施計画(第2期)の策定に着手しており、今後も改修等を計画的に実施し、施設の長寿命化に取り組んでいきます。
		3	職員採用の申込数の減少の要因としては、職場としての魅力が薄れてきていることや、他にもっとよい職場が出てきている現実があると思う。他の行政組織、民間事業者等と競うことになるので、それに打ち勝つ努力をしてもらいたい。	職員課	職員採用の申込者数について、国家公務員や他の地方公共団体でも減少傾向にあるなかで、本市においては、令和6年度から申込方法を電子申請とし申込者数の増加を図ったところですが、御指摘のとおり、令和5年度実施の試験に比べ、令和6年度実施の試験の申込者数は減少しています。 今後におきましては、年次休暇の取得促進や時間外勤務の縮減、テレワーク導入などの働き方改革を進めることで魅力ある職場づくりに努めていくほか、SNS等を積極的に活用し、職員採用の場においても市の魅力を発信することに注力していきたいと考えています。